王滝村

議会だより

平成３０年
４月号

今日から小学１年生

３０年３月定例会概要 ・・・・・・・	2P ～	4P
一般質問 ・・・・・・・	4P ～	5P
木曽広域連合議会定例会報告他 ・・・・・・・	6P ～	8P

No. １４０

３０年度一般会計当初予算を可決

総額17億4,398万5千円

対前年度比1,227万7千円（０．７％）の増加

一般質問には１氏が登壇

３月定例議会を３月８日に開会。２日目を１６日に行い、平成３０年度当初予算案（骨格予算）を含む議案全てを原案通り可決し閉会した。

＜平成３０年度一般会計予算の概要＞

骨格予算ではあるが、前年度と比較し1,227万7千円の増加となっている。木曽広域ＣＡＴＶ（ケーブルテレビ）光化促進事業や御嶽山９合目監視小屋設置などの新規事業が主な要因である。

また、地域おこし協力隊事業や集落支援員事業は拡充となり、ＤＭＯ関係は（一社）木曽おんたけ観光局への補助金として計上している。

観光施設事業会計補助金は、スキー場の指定管理期間が６月末までのため、その期間中の指定管理料の計上などにより、前年度より増加となった。

以上のことなどから、収支状況は、普通交付税の臨時費目の廃止などもあり、歳出見積額が歳入見積額を上回ったため、財政調整基金から5,888万2千円を繰り入れている。

いつも元気な"地域おこし協力隊"のみなさん
（後列左から）**宮原民果**さん・**飯嵜　聡**さん・**井川竜太**さん・**白沢　智**さん・**井川　純**さん・**大瀬和文**さん
（前列左から）**宮津　旭**さん・**グラデン静香**さん・**鈴木里奈**さん・**山下香織**さん

"集落支援員"のみなさん
左側から **石黒力也**さん・**立花裕美子**さん・**小林正和**さん・**上野長敏**さん

【３０年度主な施策】

◆木曽広域ケーブルネットワーク光化促進事業（木曽広域連合負担金）　2億1,030万4千円（新規）

整備から１０年が経過し、設備の老朽化等による故障などが見込まれるため、全線光ケーブルによる整備を木曽広域連合が事業主体で行うもの

◆木造住宅耐震改修工事補助金

一般木造住宅の耐震改修工事に補助率二分の一（上限60万）を補助（新規）

◆地域おこし協力隊事業　4,966万円（1,526万円の増）

３０年度の地域おこし協力隊は１２名を予定

◆集落支援員事業　1,750万円（670万1千円の増）

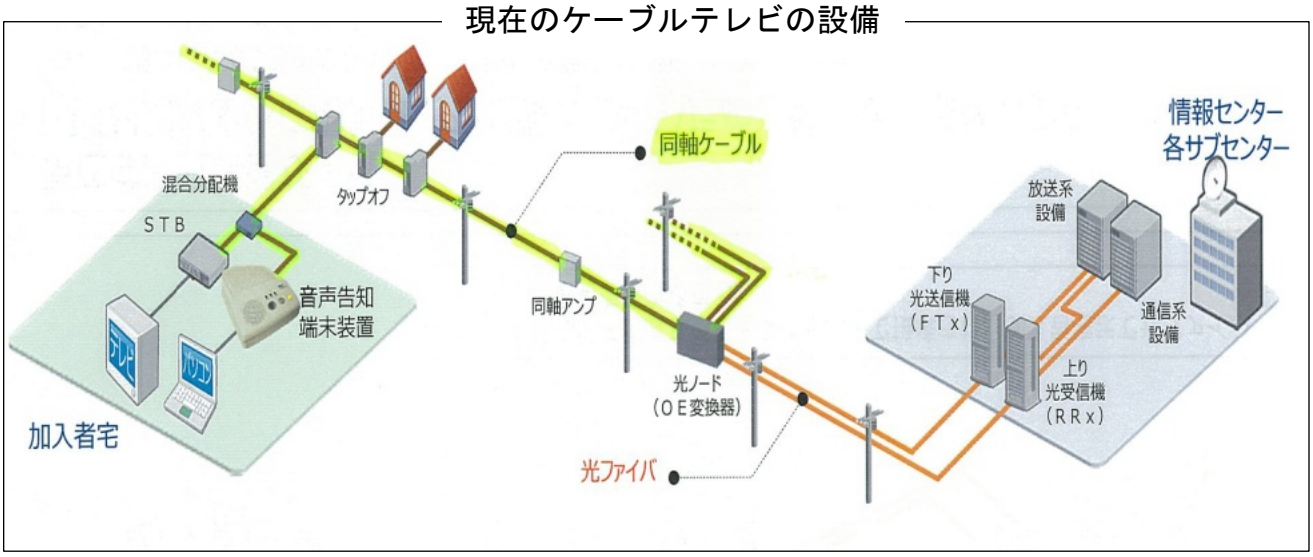
３０年度の集落支援員は５名を予定

◆地域商品券販売事業（村内分　1,864万円）増減なし

村内向けプレミアム商品券　1万円券（額面1万2

千

現在のケーブルテレビの設備



現在のケーブルテレビは同軸ケーブルと光ファイバーで構成されており、
光化促進事業により同軸ケーブル部分を光ファイバーに交換する工事が行われる。

円）を１３００セット、5千円券（額面6千円）を４００セット販売

◆村誌編纂事業 1,643万1千円（48万1千円の増）

３０年度は歴史編（上巻）を７００部発行予定

◆御嶽山安全対策事業及び復興関係経費

・県外者向けプレミアム商品券販売事業 1,123万円（5千円券を3千円で２０００セット販売）

・９合目監視小屋設置工事 2,246万4千円

９合目へ監視パトロール員が期間中に常駐する監視小屋を仮設で設置

《当初予算質疑》

１.村誌（歴史編・上巻）の発行について

問（胡桃沢） 歴史編は御嶽信仰の歴史を含むことも考えると村誌の域を超えている。７００部の発行予定だが、増刷に関しての計画はあるか。

答（教育長） 発行に向けた作業が遅れている。まずは発行することに集中してやっていきたい。

２.小中学校の運営について

問（胡桃沢） ２９年度は各学年でいくつの教科を複式で授業を行ったか。

答（教育次長） 小学校１、２年生は図工、体育、生活、音楽の４教科。

３、４年生は体育、総合、音楽の３教科。

５、６年生は体育、総合の２教科。

問（胡桃沢） それらの授業には担任が２名いるということでよろしいか。

答（教育次長） そのとおり。

問（胡桃沢） これだけの教科を複式で授業していてもそれぞれに担任は必要か。

答（教育長） 低学年については他にも研究授業として複式で行なった授業もある。３０年度についても引き続き、国語等の授業でも研究授業を行い、複式についての検討を行なっていく。

３.県外者向けプレミアム商品券の販売について

問（胡桃沢） ２９年度の販売実績について検証を行うための資料提供を求めたが、まとまっていなかったり存在しないものもあった。今のデータだけでは十分な検証が出来ない。３０年度については、費用対効果等について検証するために、利用者に対するアンケート調査なども行なっていただけるか。

答（村おこし推進課長） ３０年度実施分については、新規のお客様の人数や券があったから利用したか、などがわかるようにアンケート調査を行なっていく。

１.指定管理者について

問（三浦清） 新しい指定管理者は滝越地区を網羅していくようだが、馬事業の関係は考えていな

いのか。また釣りきち渓谷との関係はどうなのか伺いたい。

答（村おこし推進課長） 馬事業については、今すぐは無理なところも有るかもしれないが、登録した登記の目的の中に馬事業も入っているので、出来る機会があったら進めて行きたいと考えている。また、釣りきち渓谷の営業は考えていない。

２.地区懇談会について

問（三浦清） 村では、昨年各地区で行政懇談会を行ったが、その結果をどのように受け止めているのか一覧表にして配布して頂きたい。

答（総務課長） 各地区から出た要望等については、本年度は各戸配布を行う予定でいる。現在取りまとめを行っており、担当課長の確認を得て、４月の行政連絡委員会に間に合わせたいと思っている。その後、各戸配布を予定している。

１.委員会について

問（吉田） 現在当村では、報酬が支払われている委員会はどのくらいあるのか。

答（総務課長） 手元に資料がないため、後日一覧表を配布する。

【後日回答結果】

委員会数 ４０、３０年度予算総額 8,657千円

２.公用車更新事業について

問（吉田） 公用車車両費として６０万円のリース料が計上されているが、車種は何か。

答（経済産業課長） 軽ワンボックスを予定している。

問（吉田） 軽ワンボックスであれば、リースよりも購入したほうが、費用が抑えられるのではないか。

答（経済産業課長） 購入も含め検討していく。

指 定 管 理 者 の 指 定

次の4施設について指定管理者を原案のとおり可決した。

①王滝村物産販売所

名称:翌檜くらぶ、　代表者:下出さち子

②王滝村野外調理施設・魚のつかみどり場・ゲートボール場・管理棟

名称:合同会社 Rext滝越、代表者:倉橋孝四郎

③国民の森憩いの家

名称:合同会社 Rext滝越、代表者:倉橋孝四郎

④王滝村おんたけ森きちオートキャンプ場

名称:合同会社 Rext滝越、代表者:倉橋孝四郎

一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

今回は三浦征弘議員より下記の質問が行われました。

１.４期目の目標について

４期目にあたり何か格別（今までと違う）ところはあるか。

２.学校の問題について

この期間中に新１年生が１人になるかもしれないが、これについてどのような考えか。

３.地区の要望について

瀬戸村長は地区要望を認めないことが多いが、村長自身はどのように考えるか。

４. 絆事業について

「絆事業は廃止しない」と言う。それならなぜやり方（時期等）を変えたか。

５. 村長の政治手法について

質問に村長自身の答弁は非常に少ない。課長や補佐に多く答弁させている。私は疑問を感ずる。もっと多く答弁してはいかがか。

６. 滝越地区優遇について

（自分の地区だから言うのではないが）滝越地区は王滝村にとって東の御岳、西の滝越と言う人もいて非常に大事なところだ。これは歴代村長も認めている。しかし瀬戸　普さんはこれがない。これについての考えはいかがか。

７. 乗馬観光について

もっと説得力のあるやり方はできないか。

８. 林道滝越線について

道路両側の雑木の問題、いわゆる「緑のトンネル」の問題。今一度説明願います。

９. 区長会について

行政連絡員会の運営の仕方がおかしいと思うが、村長自身はそう思わないか伺います。

１０. 王滝森林鉄道について

村を代表する、日本遺産に指定されたこの林鉄を個人のものとせず村が整備をする気はないか。

スキー場特別委員会報告

１. 平成３０年１月２９日午前９時からおんたけ２２４０スキー場の視察を行いました。

参加者

議会・役場… 下出議長、西村副議長、
三浦（清）委員長、吉田議員、
胡桃沢議員
下野議会事務局長、橋本総務課長補佐
（スキー場担当）　７名

御嶽リゾート… 田中社長、加地支配人
２名

２. 三浦委員長　あいさつ

３. ゴンドラに乗車　山頂へ

・パノラマコース・パラダイスコースを視察
・第5クワットリフト乗車　セントラルコース
→カラマツコースを視察。
・プラザオリオンにて御嶽リゾート田中社長、加地支配人と懇談。

４. 田中社長から現在の入込状況について、おんたけ２２４０だけでなく他のスキー場も相当落ち込んでいるとの説明を聞き、集客の方法や施設整備、ゲレンデ整備などについて意見交換をしました。

パノラマコースを視察する委員

産業建設常任委員会報告

２月５日に委員会を開催し、瀬戸川天然林の利活用について経済産業課からの経過報告を聞きました。

瀬戸川天然林を後世に残し伝えてゆくために、森林管理署と協定を結び、交流促進事業を進めてゆくこと、また早いうちに現地の視察を行うことなどを話し合いました。

木曽広域連合議会報告

本定例会は２月２８日（金）に行われ、提出議案は専決処分の承認を求める案件が１件、条例の制定が３件、条例の一部改正が４件、条例の廃止が２件、広域計画の変更が１件、規約の変更が１件、２９年度補正予算、３０年度当初予算各々２会計が上程され、全て原案どおり可決された。

引き続き全員協議会が開催され意見交換が行われた。

★承認第1号　専決処分の承認を求めることについて

ケーブルテレビＦＴＴＨ化事業の詳細設計委託料を補正するもの。

★議案第１号　一般職の任期付職員の採用等に関する条例について

専門的知識経験者を一定期間に限り採用する為の制定をするもの。

★議案第２号　木曽寮建設基金の設置、管理及び処分に関する条例について

養護老人ホーム木曽寮の移転改築に備え、建設基金の適切な管理を実施するため。

★議案第３号　木曽広域連合指定居宅介護支援の事業の人員及び運営等に関する条例の制定について

改革推進を図るための関係法律の整備に関する法律が制定されたことにより新たに制定。

移転改築が予定されている木曽寮

★議案第４号　職員の育児休暇等に関する条例の一部改正について

非常勤職員に関して、育児休暇期間が延長できること及び特別な事情により再度取得可能となる改正。

★議案第５号　木曽広域連合介護保険条例の一部改正について

第７期介護保険事業計画に基づく、平成３０年から３２年までの介護保険料率を改正すること及び法改正による質問検査権の範囲の拡大による改正。

★議案第６号　木曽広域連合指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準に関する条例の一部改正について

★議案第７号　木曽広域連合指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

いずれも、省令により介護予防のための効果的支援の方法の基準の改正及び共生型地域密着型居宅サービスを明記するため改正するもの。

★議案第８号　市町村合併に伴う清算基金条例の廃止について

旧山口村からの精算金による基金が、償還終了により全額処分されたことから条例を廃止するもの。

★議案第９号　木曽広域連合新ごみ処理施設建設基金条例の廃止について

新ごみ処理施設建設終了に伴い基金設置が不要となるため条例を廃止するもの。

★議案第１０号　木曽広域連合広域計画の変更につき議会の議決を求めることについて

第４次計画終了に伴い、広域連合事務に新たに広域的な移住定住に関する事務を加えるもの。

★議案第１１号　長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について

現在５６の地方公共団体で委員会を共同設置しておりますが、１団体の名称変更に伴い規約の変更をするもの。

★議案第１２号　平成２９年度木曽広域連合一般会計補正予算（第５号）について

歳入歳出とも67,883,000円を減額し、予算総額を4,832,959,000円とするもの。

主な内容は、事業の精算、人件費の精算に伴う経費などの補正減と、火葬業務について平成３０年度から３ヶ年民間委託するため債務負担行為の補正を行うもの。

★議案第１３号　平成２９年度木曽広域連合介護保険特別会計補正予算（第４号）について

歳入歳出ともに10,384,000千円を減額し、予算総額を4,454,423,000,円とするもの。

主な内容は、システム改修が不要になったための減額と保険給付費の財源振替によるもの。

★議案第１４号　平成３０年度木曽広域連合一般会計について

新ごみ処理施設が完成した事によるもの。一方、新たにケーブルテレビＦＴＴＨ化（光ケーブル）事業が複数年かけて実施されること、また、不用となっている南部クリーンセンターの解体工事も予定に加えられている。

★議案第１５号　平成３０年度木曽広域連合介護保険特別会計について

歳入歳出予算総額4,077,922,000円と、前年比246,637,000円、７パーセントの減。減額の要因については、総合事業への移行による保険給付費の減額。

（全員協議会）

協議事項

１.光化（ＦＴＴＨ化）の今後の進め方について
２.木曽寮在り方検討委員会からの答申及び今後の進め方について
３.第７期介護保険事業計画について
４.第４次木曽地域振興構想について
５.木曽広域連合規約の改正について
６.新ごみ処理施設建設事業について

松塩築木曽老人福祉施設組合議会報告

組合議会２月定例会が、２月２０日に塩尻市保健福祉センターで開催された。

定例会に上程された議案は以下の通り。

①老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について
②財産の無償貸付けについて
③監査委員の選任について
④平成３０年度一般会計予算について
⑤平成２９年度一般会計補正予算（第３号）について

「老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について」は老人デイサービスセンター「ききょうの郷」の廃止に伴うもの。

「財産の無償貸付けについては、通所介護施設「ききょうの郷」を塩尻市社会福祉協議会へ通所介護事業に使用するため貸付を行うもの。

「監査委員の選任について」は、中村博保氏が議員任期満了に伴い、新たに中村博道氏を選任するもの。

「３０年度一般会計予算について」は、歳入歳出の総額が、歳入歳出それぞれ46億9,700万円であり、昨年と比べ５．４％の増となっている。人件費及び「サニーヒル木曽」「そほく」の大規模改修が予定されていることや、３１年度以降の大規模修繕の設計等があるため増額予算となっている。

「２９年度一般会計補正予算（第３号）について」は、人件費の増額と管理運営費の削減により2,400万円の補正を行い、歳入歳出を45億8,210万円とするもの。人件費の増額は退職者の増員によるもので、管理運営費の削減は賃金及び積立率変更に伴う退職手当積立基金の減額が主なものである。

以上５議案とも原案のとおり可決された。

定例会終了後引き続いて議員全員協議会が開催され、

①組合施設の現状とあり方に係る基本的な考え方について
②木曽あすなろ荘の入所定員の変更について

事務局長より説明があった。

新しいおともだちを迎えて保育園入園式

希望あふれる中学校入学式

請願と陳情

３月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は下記のとおりです。

●「核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める陳情」　（採　択）

《 編 集 後 記 》

厳寒だった２月までと打って変わって、３月は暖かな日が続いて春の訪れも早まりそうです。寒かった割には積雪が少なくて、体は楽だったように思いますが、課題山積の王滝村に本当の春が訪れるのには、まだ少し時間がかかるような気がします。（西）

議会日誌

１２月
１３日　議会１２月定例会（閉会）
２３日　志会（しるすかい）（大桑村）
２６日　例月出納検査（１１月分）

１月
１２日　王滝村消防団出初式
１５日　王滝・加子母・付知線改良促進期成同盟会通常総会（中津川市）
　　議会だより（１３９号）発行
１５日～１６日　木曽郡町村議会議長会（東京）
１９日　全員協議会、　産業建設常任委員会
２４日　木曽町商工会賀詞交歓会（木曽町）
２６日　例月出納検査（１２月分）
２７日　水資源機構との懇親会（八海山荘）
２９日　スキー場特別委員会　スキー場視察
　　御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑建立実行委員会（木曽町）
　　木曽郡町村議会議長会（木曽町）
３１日　町村正副議長・正副常任委員長研修会（安曇野市）

２月
２日　王滝村公共施設等総合管理計画推進委員会
５日　全員協議会
　　産業建設常任委員会
６日　松塩筑木曽老人福祉施設組合議会運営委員会（塩尻市）
１８日　後藤茂之木曽郡後援会新年総会（木曽町）
２０日　松塩筑木曽老人福祉施設組合議会２月定例会（塩尻市）
　　木曽広域連合議会総務常任委員会（木曽町）
２３日　長野県町村議会議長会定期総会（長野市）
２４日　砂防懇談会（大桑村）
２６日　議会運営委員会
２８日　木曽広域連合議会２月定例会（木曽町）
　　例月出納検査（１月分）

３月
５日　全員協議会（当初予算概要説明他）
８日　議会３月定例会　第１日目
１３日　議会運営委員会
１５日　王滝小中学校卒業式
１６日　議会３月定例会　第２日目
２３日　王滝保育園卒園式
２７日　例月出納検査（２月分）

発行／王滝村議会
編集／議会だより編集特別委員会
長野県木曽郡王滝村三六二三
TEL〇二六四－四八－二〇〇一